

〈単語の分類〉
〈さまざまなる表現技法〉

氏名

1 次のア～エの単語のうち、活用するものをすべて選んで、の中に記号を書きなさい。

- ア 笑う イ 寒い ウ 青空 エ ゆっくり

2 次の文の中から、体言をすべて抜き出し、の中に書きなさい。

- ・ 明日の花見に、弁当を持っていく。

3 次のそれぞれの文に用いられている比喻表現の種類を、後のア～ウから一つずつ選んで、の中に記号を書きなさい。

- ・ まるで矢のように時間が過ぎていく。

- ・ 吹き抜ける風が、私のほほをなでていく。

- ・ 秋の紅葉の様子は、自然の美術館だ。

「ア 直喩 イ 隠喩 ウ 擬人法」

4 次の三つのことわざや標語などに共通して用いられている表現技法を漢字二字で、の中に書きなさい。

- ・ 帯に短し、たすきに長し
- ・ 注意一秒、けが一生
- ・ 金の切れ目が縁の切れ目

〈単語の分類〉 〈さまざまな表現技法〉

解答

1 次のア～エの単語のうち、活用するものすべてを選んで、の中に記号を書きなさい。

ア 笑う イ 寒い ウ 青空 エ ゆっくり

活用：単語の形が変わること。

(例) 走る 走った
ア 笑う 笑った
イ 寒い 寒かった

ア、イ

※この順番でなくてもよい。

2 次の文の中から、体言をすべて抜き出し、の中に書きなさい。
・明日の花見に、弁当を持っていく。

明日 花見 弁当

※この順番でなくてもよい。

体言：自立語で、活用しない単語。「は・が」などが付いて、主語になることができる。

3 次のそれぞれの文に用いられている比喻表現の種類を、後のア～ウから一つずつ選んで、の中に記号を書きなさい。

・まるで矢のように時間が過ぎていく。

ア

直喩：「まるで」などの言葉を使ったとえる方法。

・吹き抜ける風が、私のほほをなでていく。

ウ

隠喩：「まるで」などの言葉を使わずにたとえる方法。

・秋の紅葉の様子は、自然の美術館だ。

イ

擬人法：人間でないものを人間にたとえて表す方法。

「ア 直喩 イ 隠喩 ウ 擬人法」

4 次の三つのことわざや標語などに共通して用いられている表現技法を漢字二字で、の中に書きなさい。

- ・帯に短し、たすきに長し
- ・注意一秒、けが一生
- ・金の切れ目が縁の切れ目

対句

対句：言葉の形や意味が対応するように並べる方法。